

開講年次・時期	1年前期	授業回数	8回	時間数	15時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK210	科目名	子どもと造形 I	担当者名	工藤 千華
授業の概要	幼児期の造形表現とその指導法について、多様な教材や用具に触れ実際に体験することから学ぶ。				
科目の到達目標	○造形活動の基本的な知識・技術を習得する。 ○幼児の表現の姿やその発達およびそれを促す要因、幼児の感性想像力を豊かにする環境構成についての知識を身につける。 ○子どもの経験や様々な表現活動と造形表現を結びつける遊びを展開させることができる。				
DPの観点	②表現力(40%)⑥専門知識・技能(30%)⑨主体性(30%)				
授業時間外学修 (予習・復習)	授業計画に沿って、活動に必要な道具や素材の準備を30分と授業のまとめの復習を30分行う。				
フィードバックの方法	ワークシートを活用して、授業内容の振り返りを行い、次の制作活動へ繋げる。				
単位認定の要件	課題作品、ワークシートをすべて提出すること。				
評価の方法・割合 (%)	課題及びワークシートの提出(70%)、授業内活動に関する評価(30%)				
履修上の注意事項	スケッチブック、クレパス、ハサミ、のりを毎時使用する。衣服が汚れる場合があるため、汚れても良い服装で授業に臨むこと。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			オリエンテーション、造形の教育的意義と幼児期の造形に関する発達を理解する。	⑥	ワークシート
2			クレパスの技法	②⑥	課題作品、ワークシート
3			はじき絵	②⑥	課題作品、ワークシート
4			フロッタージュ	②⑥⑨	課題作品、ワークシート
5			染め紙、色紙づくり	②⑥	ワークシート
6			コラージュ作品作り	②⑥⑨	課題作品、ワークシート
7			造形あそび(スタンプ)	②⑥	課題作品、ワークシート
8			児童文化財の体験(ペープサートの制作)	②⑥⑨	課題作品、ワークシート
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
期末試験			なし		

使用テキスト	なし
参考文献 参考URL	富山典子・岩本克子共著「絵画あそび技法百科」(ひかりのくに)/きむらゆういち著「きむら式おもしろ造形タイム」(チャイルド本社)//北沢昌代・畠山智弘・中村光絵共著「ワークシートで学ぶ子どもの造形表現」第2版(開成出版)
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--